

日本脊椎脊髄病学会 平成 27 年度第 2 回国際委員会議事録

日 時 : 平成 27 年 5 月 23 日(土) 午前 7 時~8 時

場 所 : ポートピアホテル 本館 B1F 「桜」

出席: 松山幸弘担当理事、湯川泰紹委員長、岩崎幹季委員、金山雅弘委員、田中雅人委員、根尾昌志委員、富士武史委員、寒竹司 前アドバイザー(山口大学)、上井浩 新アドバイザー(日本大学)

欠席: 大鳥精司委員、川原範夫委員、矢吹省司委員

1. 平成 26 年度アジアトラベリングフェローの修了証と訪問施設への感謝状を送付した。寄附金の現状と平成 27 年度の募金趣意書について報告があった。
2. English Poster Session(EPS)および Award(EPA)、English oral session について学会の国際化の観点から、学術集会での英語セッションの充実は重要であり、この点については理事会でも確認されている。EPS および EPA は応募数が減少し、現状での継続は困難であり、次期学術集会より、EPS および EPA は行わず、English oral session へ移行し、oral presentation に対して Award を設定することとなった。
次期学術集会徳橋会長と学術集会プログラム検討委員でもある根尾委員とのメール討議結果をもとに、以下の方向性が示された。
 - 可能であれば学会初日と最終日に一日を通して英語セッション(スライドのみ英語の口演も含め)でのプログラムお願いする
 - 英語セッションは主題として、脊椎感染、脊椎腫瘍、脊椎外傷、脊柱変形のうち 2 つをテーマとして選択し、学会側に推薦する
 - NASS との combined session は次々期(2017)以降の学術集会で検討する
 - 海外の参加者から日本人による英語での教育研修講演を聞きたいとの要望があり、今後検討していく
 - English oral session への海外からの参加者については、学会参加費を無料にする方向でお願いする
3. 2016JSSR の招待医師について徳橋会長より提案があった招待医師リストの中から国際委員会として下記医師を推薦した。

アジアトラベリングフェロー関連:

Dr. Kannna RM (Ganga Hospital、インド)

Dr. Brian Freeman (Royal Adelaide Hospital、オーストラリア)

Dr. Yu Bin-Sheng (深圳北京大学、中国)

Dr. Ki-Tack Kim (慶熙大学、韓国)

Dr. Young Qiu (南京大学、中国)

国際委員会推薦：

Dr. John M Rhee (Emory University、米国)

Dr. Stephen Lewis (Toronto Western Hospital、カナダ)

Dr. Khaled Kebaish (John Hopkins University、米国)

Dr. Michael Ruf (SRH-Klinikum Karlsbad-Langensteinbach、ドイツ)

Dr. Jeffery C Wang (USC Spine Center Los Angeles、米国)

4. 台湾のトラベリングフェロー受け入れについて

2015/10/4(日)～10/17(土)の2週間の予定で、台湾のトラベリングフェローを受け入れる。前半を名古屋大関連施設・浜松医大で、後半を岡山大学で受け入れる日程が確認された。

5. その他

今後、訪問先の新規開拓、English oral sessionの広報活動などを目的に、国際委員の海外視察を進める必要性が確認された。

6. 次回委員会の日程

日本脊椎インストゥルメンテーション学会中の2015年11月7日(土)AM7時開催予定。それまでに必要があればメール審議を行うこととする。